



61 一般病棟の重症度,医療・看護必要度

<p>解説</p>	<p>これは,一般病棟における重症度,医療・看護必要度に基づく,重症患者の基準を満たす割合を示す指標です。急性期の入院医療における患者の状態に応じた医療及び看護の提供量の必要性を反映する指標になります。重症患者の割合が高いことは,急性期医療において,より医療ニーズ(手術,処置等)や手厚い看護(看護の提供量)の必要性が高い患者を多く受け入れていることを表します。つまり,この指標が高い医療機関は急性期医療に貢献していると考えられます。ただし,診療科の構成やICUの病床数等にも影響を受けやすいため,目安の一つとして捕える必要があります。</p> <p>なお,診療報酬において,7:1入院基本料(看護師1名が入院患者7名を受け持つ体制)を算定するためには,各医療機関が対象となる病棟において「重症度,医療・看護必要度」を測定し,基準を満たす患者の割合を届け出る必要があります。平成28年度の診療報酬では,この割合の基準は25%となっています。</p> <p>平成28年10月から平成29年3月までの各月の一般病棟の重症度,医療・看護必要度(%)を各大学病院から調査し,平均したものです。なお,平成28年度より新規に調査を行ったため,平成28年度の数値のみを提示しております。</p>												
<p>実績</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>31.84</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合 (%)	平成24年度	0	平成25年度	0	平成26年度	0	平成27年度	0	平成28年度	31.84
年度	割合 (%)												
平成24年度	0												
平成25年度	0												
平成26年度	0												
平成27年度	0												
平成28年度	31.84												
<p>定義</p>	<p>以下の式で算出します。(A項目2点以上かつB項目3点以上,A項目3点以上またはC項目1点以上の該当患者延数)÷一般病棟在院患者延数</p>												